

池田泉州ホールディングス 決算レポート

業績 *High Light* 第4次中期経営計画の進捗

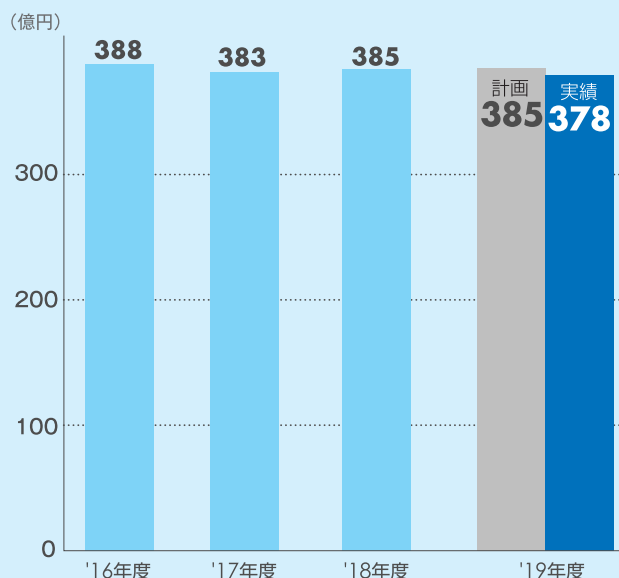
2019年度通期決算の純利益は**39億円**
(通期計画40億円に対しほぼ計画どおり着地)

預貸金収支

(預金と貸出金の利ざやから得られる利益)

預貸金収支 **378億円**

(前年比・計画比▲7億円)



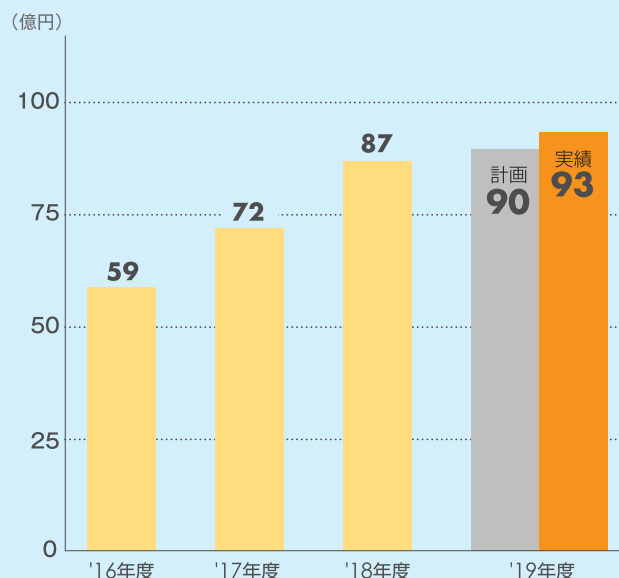
・マイナス金利政策の長期化により、貸出金利息は減少傾向が続いており、預貸金収支は前年比▲7億円の378億円で着地。引き続き、メイン化推進等による預貸金収支の維持を図る。

非金利収益

(個人・法人手数料等)

非金利収益 **93億円**

(前年同期比+6億円、計画比+3億円)



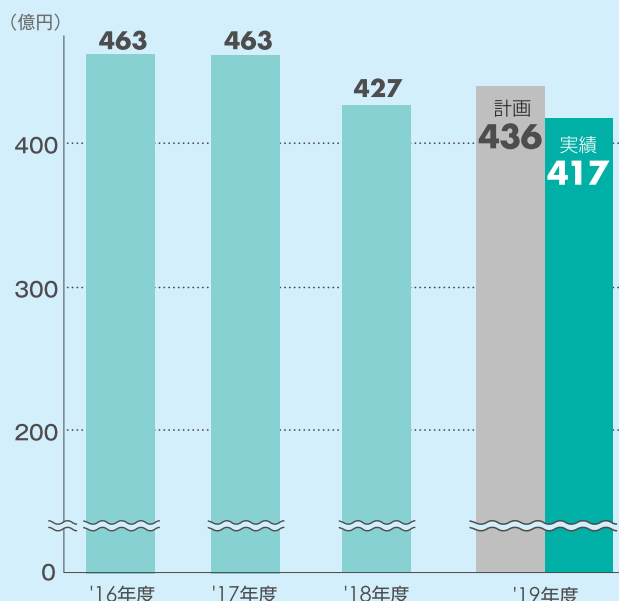
・預り資産販売を中心とした個人役務収益や有料職業紹介等の法人役務収益の増強に注力。2019年度は投資信託の販売や、M&A、私募債の受託が堅調に推移し、非金利収益は前年比・計画比とも超過達成。

経費削減の進捗

(人件費・物件費等)

経費 **417億円**

(前年比▲10億円、計画比▲19億円)



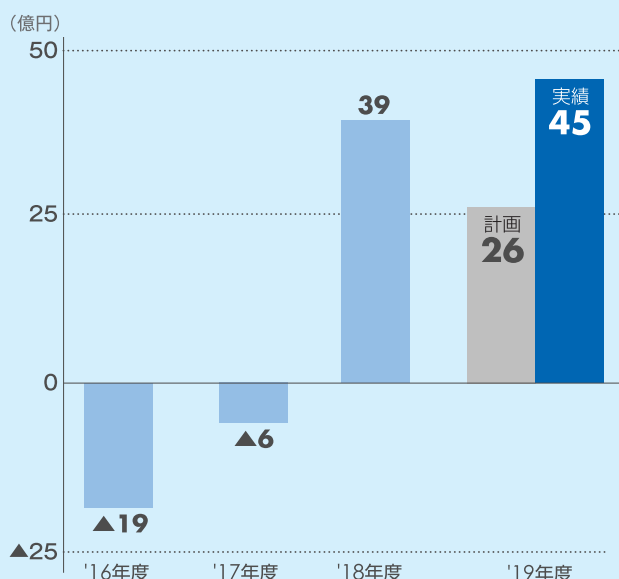
・2018年度より経費の抜本的な見直しに着手
2019年度は更なる経費見直しを進めた結果、人件費・物件費とも大幅に削減。前年実績(427億円)・計画(436億円)を大きく下回る形(417億円)で着地

本業利益^{*}の状況

(お客さまとの取り引きから得られる利益)

本業利益 **45億円**

(前年比+6億円、計画比+19億円)



・預貸収支は前年比弱含むも、非金利収益の増加でカバー、人件費・物件費等の経費を抑制できたことが寄与し、本業利益は計画を大幅に超過達成し、2期連続黒字となる45億円で着地(計画比+19億円、前年比+6億円) ※貸出残高×預貸金利回り差+役務取引等利益-営業経費